

学校予算／防災／オスプレイ…

中学生鋭く質問

与那原子ども議会活発議論



【与那原】第3回与那原子ども議会が7日、与那原町議会議場で開かれた。与那原中学校3年生15人が議員となり、町の担当者らに議員顔負けの質問を投げ掛けるなど活発な議論を交わした。

議員顔負けの質問も相次いだ「子ども議会」＝7日、与那原町議会

子ども議員からは「中学校の吹奏楽部で使用している楽器について、新たに楽器を買う予算を計上してくれないか」「中学校の体育館はとても暑く、風通しをよくし涼しくするための対策をしてほしい」などの中学生にとって身近な質問があった。

そのほか「避難施設での食糧などの備蓄の程度は」「防災無線が聞こえにくいことがあるのはなぜか」など東日本大震災を受けての質問もいくつかあった。

岸本悦君の「オスプレイ配備による町への影響と対策は」との質問に対して、町の担当者は「オスプレイの飛行をやめさせる、阻止することが大切だ」と答弁した。

議会閉会后、高江洲千夏さんは「とても緊張したけれど、自分たちの意見を直接ぶつけられて、良い経験ができた」と話した。

(2012年8月10日 35面)

☆市町村の議会は、何を話し合う場でしょうか？ 選挙で選ばれた議員は、議会で話し合いをする以外にどんな仕事をしているか話し合ってみよう。

☆もし、あなたが議員だったらどんな質問をしますか？ 家族や身近な人が普段口にしている疑問や不満などを思い出してみよう。

年 組 名前